

請求の範囲

- [請求項1] プログラムを実行するプロセッサと、前記プログラムを記憶する記憶デバイスと、を有する連携装置であって、
- 前記プロセッサは、
- 各々実環境の挙動を模擬して前記実環境に関する指標値を出力する個別システム群から複数の個別システムを選択する選択処理と、
- 前記選択処理によって選択された複数の個別システムの各々が模擬した挙動によって得られる前記実環境に関する内部状態の各々を共有して共有内部状態を生成し、前記共有内部状態に基づいて、前記複数の個別システムが連携した場合における前記複数の個別システムの各々からの連携後指標値を統合した連携後統合指標値を最適化するような、前記複数の個別システムが連携した場合の前記個別システムの各々が採り得べきアクションを決定する決定処理と、
- 前記連携後指標値と、前記複数の個別システムの各々からの指標値と、に基づいて、前記複数の個別システムを連携すべきか否かを判定する判定処理と、
- 前記判定処理による判定結果を出力する出力処理と、
- を実行することを特徴とする連携装置。
- [請求項2] 請求項1に記載の連携装置であって、
- 前記判定処理では、前記プロセッサは、前記連携後統合指標値と、前記複数の個別システムの各々からの指標値を統合した連携前統合指標値と、に基づいて、前記複数の個別システムを連携すべきか否かを判定する、
- ことを特徴とする連携装置。
- [請求項3] 請求項1に記載の連携装置であって、
- 前記プロセッサは、
- 前記判定処理によって連携すべきと判定された場合、前記複数の個別システムのうち第1個別システムが実行する第1処理群の中の第1

処理から、前記複数の個別システムのうち第2個別システムが実行する第2処理群の中の第2処理に、移行するように、前記複数の個別システムを統合した統合システムを生成する生成処理、
を実行することを特徴とする連携装置。

[請求項4]

請求項3に記載の連携装置であって、
前記生成処理では、前記プロセッサは、前記第1個別システムの前記第1処理を移行元処理、前記第2個別システムの前記第2処理を前記第1処理の移行先処理とする情報に基づいて、前記統合システムを生成する、
ことを特徴とする連携装置。

[請求項5]

請求項1に記載の連携装置であって、
前記プロセッサは、
前記判定処理によって連携すべきと判定された場合、前記複数の個別システムのうち第1個別システムが実行する第1処理群が使用する第1リソースと、前記複数の個別システムのうち第3個別システムが実行する第3処理群が使用し、かつ、前記第1リソースと同種の第2リソースと、を同期することにより、前記複数の個別システムを統合した統合システムを生成する生成処理、
を実行することを特徴とする連携装置。

[請求項6]

請求項5に記載の連携装置であって、
前記生成処理では、前記プロセッサは、前記第1個別システムの前記第1リソースと前記第3個別システムの前記第2リソースとを同期対象とする情報に基づいて、前記統合システムを生成する、
ことを特徴とする連携装置。

[請求項7]

請求項1に記載の連携装置であって、
前記選択処理では、前記プロセッサは、所定の契機に基づいて、前記所定の契機に対応する前記個別システム群の中の特定の個別システムと、前記特定の個別システム以外の他の個別システムと、を選択す

る、

ことを特徴とする連携装置。

[請求項8]

請求項7に記載の連携装置であって、

前記選択処理では、前記プロセッサは、前記特定の個別システムからの連携依頼を前記所定の契機として、前記特定の個別システムと、前記他の個別システムと、を選択する、

ことを特徴とする連携装置。

[請求項9]

請求項7に記載の連携装置であって、

前記選択処理では、前記プロセッサは、前記個別システム群の中のいずれかの個別システムの修正を前記所定の契機として、修正された個別システムと、前記修正された個別システム以外の他の個別システムと、を選択する、

ことを特徴とする連携装置。

[請求項10]

請求項7に記載の連携装置であって、

前記選択処理では、前記プロセッサは、前記個別システム群の中のいずれかの個別システムの削除を前記所定の契機として、前記削除された個別システムと連携していた連携先個別システムと、前記連携先個別システム以外の他の個別システムと、を選択する、

ことを特徴とする連携装置。

[請求項11]

請求項7に記載の連携装置であって、

前記選択処理では、前記プロセッサは、前記個別システム群への新たな個別システムの追加を前記所定の契機として、前記新たな個別システムと、前記新たな個別システム以外の他の個別システムと、を選択する、

ことを特徴とする連携装置。

[請求項12]

請求項7に記載の連携装置であって、

前記選択処理では、前記プロセッサは、前記特定の個別システムが実行する処理群の処理対象と、前記他の個別システムが実行する処理

群の処理対象と、の共通性に基づいて、前記特定の個別システムと、前記他の個別システムと、を選択する、

ことを特徴とする連携装置。

[請求項13]

請求項7に記載の連携装置であって、

前記選択処理では、前記プロセッサは、前記特定の個別システムが使用するリソースの対象と、前記他の個別システムが使用するリソースの対象と、の共通性に基づいて、前記特定の個別システムと、前記他の個別システムと、を選択する、

ことを特徴とする連携装置。

[請求項14]

プログラムを実行するプロセッサと、前記プログラムを記憶する記憶デバイスと、を有する連携装置が実行する連携方法であって、

前記連携方法は、

前記プロセッサが、

各々実環境の挙動を模擬して前記実環境に関する指標値を出力する個別システム群から複数の個別システムを選択する選択処理と、

前記選択処理によって選択された複数の個別システムの各々が模擬した挙動によって得られる前記実環境に関する内部状態の各々を共有して共有内部状態を生成し、前記共有内部状態に基づいて、前記複数の個別システムが連携した場合における前記複数の個別システムの各々からの連携後指標値を統合した連携後統合指標値を最適化するような、前記複数の個別システムが連携した場合の前記個別システムの各々が採り得べきアクションを決定する決定処理と、

前記連携後指標値と、前記複数の個別システムの各々からの指標値と、に基づいて、前記複数の個別システムを連携すべきか否かを判定する判定処理と、

前記判定処理による判定結果を出力する出力処理と、

を実行することを特徴とする連携方法。